

# 安保破棄ニュース

NO. 580 2025・9・15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町9-6 2階  
TEL 06-6763-3833 FAX 06-6763-3836  
HP <http://www.anpo-osk.jp>  
E-mail [anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp](mailto:anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp)

## 学校教育にしのびよる「戦前」

大阪教職員組合 中川 勉

アジア・太平洋戦争(十五年戦争)では、教育勅語が、道徳的規範を取り入れながら、国民統制の道具として使われました。戦後、教育勅語は排除・失効確認の決議がなされ、また、行政は教育介入を許されず、教育条件整備・支援が主な役割とされました。

戦後80年の今年、自公政権がすすめる「戦争する国づくり」が、教育に与える影響を考えます。

### 文教予算と軍事予算

2026年度予算の概算要求が発表されました。軍事費(防衛費)予算は8兆8千億円。その一方、文部科学省予算は、文教予算が4兆5千億円(防衛費の約半分)となっています。2025年度に比べて約1千億円あまり増えています。これは、中学校35人学級の実現を反映したものであり、実質ほとんど据え置きと言えます。`せんせいふやそう、の国民的要求に背を向け、2023年度以来、軍事費を増大させています。

### 子ども版「防衛白書」

防衛省が、2021年度以来子ども版「防衛白書」を作成し、今年度初めて全国の小学校に向けて、自治体に配布しました。実際に配られたのは、全日本教職員組合(全教)の調査によると、青森、岩手、山形、福島、長崎など8県です。その内容は、①抑止力論を押し付ける、②兵器の紹介を行う、③ウクライナへのロシア侵攻は、ウクライナ側が十分な防衛力を持っていなかったから、④周辺国の脅威をおおる、⑤在日米軍を「地域の国々に大きな安心をもたらす存在」だと賛美



するなど、問題だらけです。また、同封されているアンケートには、総合的な学習の時間での活用実績について問うなど、活用を促すような項目もあります。

### 職業体験・リクルート活動

中学校では、職業体験が教育課程に組み込まれており、中学生が地域の福祉介護などの公共施設や商工業者のもとで、数日間体験します。通常希望制となっていますが、自衛隊が選べるようになってきているところが多いです。志願者が少なくなっている自衛隊が募集のために学校現場へ浸透しようとしています。軍隊では、上官の命令は絶対であり、およそ主権者教育とは相いれません。また、高校現場では、自衛隊広報係がリクルートのため、進路指導室を訪れることもあります。自衛官募集のポスターを校内に貼っている高校もあります。進路先に自衛隊をすすめる教職員の話は知りませんが、こうした動きにも注意が必要です。

### 自衛隊への名簿提供

大阪府下では、岬町を除く全ての自治体で自衛隊の要請に応じ、18歳や22歳になる市民の名簿提供が行われています(全国的には66%の自治体が提供)。データや宛名シールでの提供が行われているところもあり、世界標準で見れば軍隊である自衛隊を優遇し、リクルートを支援するようなことはやめさせなければなりません。府民的な運動になっていないのが現状です。

以上みてきたように、防衛省・自衛隊からの学校教育へのさまざまなアプローチは、教育への介入とも言えるものです。平和教育を対抗軸としてより強く示すことが求められます。

# 変貌する舞鶴港

近畿安保  
舞鶴基地視察(見聞録)

8月23日（土）～24日（日）、近畿安保として海上自衛隊舞鶴基地視察ツアーを行いました。

舞鶴港は、日本海側の中心的な場所にあり、舞鶴湾の入り口は狭く、しかも、水深が深いという地形に恵まれているために防御に適し、かつ水資源にも恵まれているために軍港として格好の地形だということで、日露戦争に備えて軍港がつくられたのが始まりであり、1901年（明治34年）に鎮守府（軍港の司令部）が置かれてから124年を数えます。



舞鶴の軍事基地は、日清戦争の賠償金を用いて造られ、当時の日本の国家予算の3倍もの金がつぎ込まれ、1904年に勃発した日露戦争以降、日本海唯一の軍港として重要な役割を果たしました。

1945年の敗戦により、一時は広島の実基地と同様に、軍転法によって平和なまちへの転換をめざしましたが、1952年8月には、海上自衛隊の前身である保安庁警備隊の発足と同時に舞鶴地方隊がつくられ、自衛隊舞鶴基地として再び“軍都”としての歴史が始まりました。いまでは、地方総監部、造修補給所、航空基地、弾薬整備補給所、教育隊などの施設が置かれ、自衛隊員約3400人が家族とともに居住し、舞鶴の人口約7万5000人の1割以上が自衛隊関係者となっています。

経済的な面でも、自衛隊総監部の2023年度の支出総額は409億円を数え、艦船の修理などに係る物件費164億円の内8割以上を市内の業者が受注しており、さらに毎年10億円もの金が国から市に交付されているという状況から、行政面においても、大きな影響力を持つ存在となっています。（舞鶴市の同年度の一般会計決算額は386億円）

## ① 航空基地を開港

2001年3月、民間用地18万㎡を買収して建設し、対潜哨戒ヘリコプター12機が稼働できる航空基地を開港しました。



## ② 弾薬庫を増設

2001年5月、既存の弾薬庫3棟を改修するとともに、白浜地区に2棟を新設し、弾薬の保管量が70tから11tへと大きく増加し、海上自衛隊としては最大級のものとなりました。

そしていま、今年度3棟が増設されて、年度中にはアメリカから購入したトマホークが持ち込まれようとしており、さらに3棟が地方総監部の北側の隣接地に増設されようとしています。

## ③ US-Onlyのミサイル整備場を設置



2011年、白浜弾薬庫にミサイル整備場が建設され、その中にUS-Onlyのミサイル整備場が設けられました。

2011年、白浜弾薬庫にミサイル整備場が建設され、その中にUS-Onlyのミサイル

## ④ ミサイル整備場等の新増設

2023年度予算に30億円が計上され、今年21億円を使って新たな整備場が建設されました。（上の写真の右の緑色の四角い建物）

## ⑤ 係留所(栈橋)を延長

長さ465mだった北吸係留所を西側に180m延長し、さらに、東側に6万㎡埋め立てた土地に250mと南北側に110m延長して、合計1005mの係留所となりました。さらに、水深を8mから11mに浚渫しました。これにより、係留能力が、9隻から15隻に強化されました。

### ⑥ 地方総監部庁舎の地下化

「自衛隊基地強靱化」の一環として、2024年度以降に地方総監部庁舎の地下化が計画されており、舞鶴市長に対して市内の平和4団体が中止を求める申し入れを行いました。市長は、市議会で「国民の安全安心を確保するために必要な防衛力強化の検討が進められていると認識」と答弁しています。

### ⑦ イージス艦をトマホーク搭載可能に改修

いま、舞鶴に配備されているイージス艦「みょうこう」と「あたご」がトマホークな



ど長射程ミサイルを海上から発射できるように改修されています。

### ⑧ FFM艦2隻を新たに配備

昨年5月と6月、ステルス性が高く、わずか90



人ほどの兵員で運航できる最新鋭の護衛艦「やはぎ」と「あがの」が新たに配備され

ました。

### ⑨ イージス・システム搭載艦の1隻が配備される可能性大

防衛省が秋田県と山口県に配備することを予定していたイージス・アショア計画が中止されたことを受けて開発されようとしているイージス・シス

テム搭載艦2隻のうちの一隻が舞鶴に配備される可能性が大きくなっています。

### ⑩ 舞鶴市教委が海上自衛隊舞鶴地方隊の総監を講師に「リーダー研修」

舞鶴市立小中学校の校長・教頭・教務主任を対象に、舞鶴市教委が、海上自衛隊舞鶴地方隊の総監を講師に、「リーダー研修」を自衛隊の施設内で行いました。研修の目的を、学校現場の安全対策、危機管理、防災の対応能力を高めるためとしていますが、これに対して、京都教職員組合と舞鶴市教職員組合は中止を申し入れました。

このように、いま舞鶴では次から次へと対中国を想定した戦争に備えての自衛隊基地の増強が進められ、自衛隊が市民の中に浸透しようとする動きが強くなっています。

しかし、舞鶴平和委員会をはじめ多くの市民が反対し、その危険性を指摘するように、いかに武力を強化して「反撃能力」を高め、その「抗たん性」「継戦性」を強化しても、それは決して住民を守ることにはならず、基地を守ることでしかないことは明らかです。

「反撃能力」＝「敵基地攻撃能力」は決して「抑止力」にならないばかりか、基地のある所は先ず攻撃目標とされ、結局は日本全土を戦場化し、多大な住民が犠牲を強いられることにしかなりません。

今回のツアーの二日目には、舞鶴引き揚げ記念館で語り部の方からのお話

も伺い、当日行われた「浮島丸殉難80周年追悼集会」

にも参加するという貴重な体験もすることができました。

今回は、「戦争とは？平和とは？」と考えながら、舞鶴を巡るツアーとなりました。



## 〈ツアー参加者の声〉

○有事になれば、直ぐにでも戦争する準備ができていることに恐怖を感じた。○グレーに塗装され、窓のない自衛艦。戦闘になるとこの船はどうなるのか。乗組員はどうなるのかを想像した。○一度見たいと思っていたが、実際に見てみると不気味だった。

○普段の生活の中では見えない、今の軍拡の姿が認識できた。○「戦争する国」づくりがこれ程進んでいるとは…。○日本がアメリカと中国の戦争に巻き込まれ、戦闘に参加すると、真っ先に死ぬのは自衛隊員、そして基地周辺の住民だ。○軍港、そして市役所が間近にあり、何か変に思った。○これ程にも、日常に浸み込んでいることに怖さを感じる。○多くの人が見学に来ているのを見て、「どんな思いで見に来ているのか」と考えてしまう。○自衛隊員を守るためにも、戦争させないことが重要。

○行政や学校を巻き込んで軍港に変貌しつつある様子がよく分かった。○「自衛隊員を海外で殺させない」ことに共同のカギがあると思う。



一部復元された「平棧橋」で（引き揚げてこられた方々が祖国の土を踏んだ棧橋）

## 439th 23 宣伝行動

8月の 定例宣伝は、夕方5時半から玉造交差点で行いました。8団体12名が参加し、共産党府委員会の内海さんと平和遺族会の大島さんが弁士としてスピーチしました。

### 《当面の日程》 天 天 天 天 天 天 天 天 天

#### 9月

- 11日(木) 機関紙印刷発行作業&事務局会議  
10:00~ 大阪安保事務所
- 17日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00~  
大阪安保 4階会議室
- 20日(土) 大阪「平和大会」
- 24日(水) 「23定例宣伝」行動 17:00~淀屋橋  
(大教組カー)
- 奈良「RYU裁判」 13:30~奈良地裁
- 26日(金) 近畿安保・合同会議  
13:30~ 大阪安保事務所
- 28日(日) 「日本母親大会in東京」 13:00~  
分科会 日本教育会館 他
- 29日(月) 「日本母親大会in東京」 12:30~  
全体会 東京国際フォーラム

#### 10月

- 9日(木) 機関紙印刷発行作業&事務局会議  
10:00~ 大阪安保事務所
- 15日(木) 大阪安保常任幹事会 10:00~  
大阪安保 4階会議室
- 23日(木) 「23定例宣伝」行動 12:30~  
南森町・天神場所商店街入口  
(自治労連 担当)
- 24日(金) 「日本平和大会in愛知」 13:00~  
フィールドワーク(基地・軍需産業)
- 25日(土) 「日本平和大会in愛知」 13:00~  
開会集会ほか 名古屋市民会館ほか

- 26日(日) 「日本平和大会in愛知」 9:15~  
分科会ほか 名古屋市民会館ほか
- 11月
- 9日(日) 京都「いらんちゃフェスタ」 13:30~  
丹後文化会館
- 13日(木) 機関紙印刷発行作業&事務局会議  
10:00~ 大阪安保事務所
- 19日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00~  
大阪安保 4階会議室
- 21日(金) 大阪安保23定例宣伝行動 12:30~  
北区役所前 (大阪労連 担当)

- 28日(金)~30日(日)  
「基地闘争交流集会in沖縄」
- 12月
- 11日(木) 機関紙印刷発行作業&事務局会議  
10:00~ 大阪安保事務所  
近畿安保「オンライン学習会」18:30~
- 17日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00~  
大阪安保 4階会議室
- 23日(火) 大阪安保23定例宣伝行動 12:30~  
上六交差点 (大教組 担当)

